「理科」学習の仕方

１．教科の目標

○　自然の事物・現象に対する関心を高める。
○　目的意識をもった観察，実験などを行い，科学的に調べる能力と態度を育てる。
○　科学的な根拠を用いて，考えを深める。
○　科学的な見方や考え方を養う。

２．本校での学習の特徴

○　自然の事象・現象から問題を見いだし，意欲的に探求する活動を通して，規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させます。
○　実験計画を考えたり，結果を予想したりすることにより，目的意識をもって観察，実験などを行い，観察・実験技能を習得させるとともに，その結果を考察し，自分の考えを表現させます。
○　タブレットドリルなど ICT 教材の活用により，科学的な見方や考え方を養い，定着をはかります。
○　学習内容の振り返りを充実させ，自分の言葉で表現することで定着をはかります。

３．家庭学習

○　授業で学習したことをポートフォリオにまとめ，授業で学習したことを定着させましょう。
○　タブレットドリルを使って，復習や応用問題に取り組みましょう。
○　生活の中から疑問に思うことなどを，ポートフォリオに記入し，授業で共有することで，協同的な学びをしていきましょう。

４．評価にかかわって

（１）「知識及び技能」
概念や原理・法則の理解，科学的探究や問題解決に必要な観察・実験等の技能などを評価します。

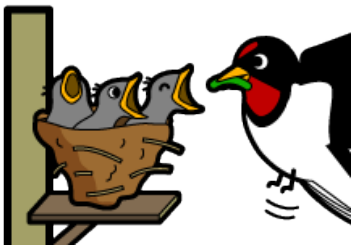
（２）「思考力・判断力・表現力等」
科学的な探究能力や問題解決能力などを評価します。

（３）「主体的に学習に取り組む態度」
主体的に探究したり，問題解決しようとしたりする態度などを評価します。

観点別評価の方法

（１）定期試験，小テスト，実技テストで評価します。
（２）定期試験，レポート，ポートフォリオの記述で評価します。
（３）ポートフォリオの記述，調べ学習や作品，行動観察，自己調整学習（課題・振り返り）で評価します。

５．年間指導計画

	１年（１０５時間）	２年（１４０時間）	３年（１４０時間）
一学期	**いろいろな生物とその共通点** （２７時間） １生物の観察と分類のしかた ２植物の分類 ３動物の分類 身のまわりの物質 （１３時間） １いろいろな物質とその性質 ２いろいろな気体とその性質	**化学変化と原子･分子** （３０時間） １物質のなり立ち ２物質の表し方 ３さまざまな化学変化 ４化学変化と物質の質量 **生物のからだの** **つくりとはたらき** （１５時間） １生物の体をつくるもの ２植物の体のつくりとはたらき	**生命の連続性** （２０時間） １生物のふえ方と成長 ２遺伝の規則性と遺伝子 ３生物の種類の多様性と進化 **化学変化とイオン** （２７時間） １水溶液とイオン ２電池とイオン ３酸・アルカリと塩 
二学期	（１４時間） ３水溶液の性質 ４物質のすがたとその変化 **身のまわりの現象** **（２４時間）** **１光の世界** **２音の世界** **３力の世界**	（１９時間） ３動物の体のつくりとはたらき ４動物の行動のしくみ **地球の大気と天気とその変化** （２６時間） １地球をとりまく大気のようす ２空気中の水の変化 ３天気の変化と大気の動き ４大気の動きと日本の四季	**運動とエネルギー** （３４時間） １力の合成と分解 ２物体の運動 ３仕事とエネルギー ４多様なエネルギーとその移り変わり **５エネルギー資源とその利用** **宇宙を観る** （２０時間） １宇宙の天体 ２太陽と恒星の動き ３金星の動きと見え方
三学期	大地の変化 （２２時間） １火をふく大地 ２動き続ける大地 ３地層から読み取る大地の変化。 学年のまとめ （５時間）	**電気の世界** （３４時間） １電流の性質 ２電流の正体 ３電流と磁界 学年のまとめ （５時間） （予備１１時間）	**自然と人間** （２７時間） １自然のつり合い ２さまざまな物質の利用と人間 ３科学技術の発展 ４人間と環境 ５持続可能な社会をめざして 学年のまとめ （５時間） （予備７時間）